

# 和地ひとみレポート No.135

いよいよ来年度の予算編成スタート

## 東大和市平成27年度予算編成方針が発表

### ■市長からの来年度予算編成方針発表

…10月6日付の前号で「平成25年度の決算」について書いたばかりですが、早いもので東大和市においても来年度、平成27年度の予算編成がスタートしました。行政における予算編成は、決算→政策評価→市長からの予算編成方針→予算要求→予算要求の査定→予算案の決定、という予算循環に基づいて行われていますが、翌年度予算の編成は、今年度予算の執行中に行われるため、決算と予算編成時期のずれはあります。

(今年度の結果を見て来年度の予算を組めない)  
…しかし予算は、市の大きな方向性やすでに決定している「東大和市実施計画」に基づき編成されていきます。また、今年度がまだ現在進行形で進められている中でも、来年度の予算を考えなければならないということに対しては、世の中の変化、市政を運営していくなかで日常的に現場で感じられていること、新たな課題などもあると思います。このようなことも踏まえて東大和市でも予算は編成されていくと思いますが、ぜひ、市政の課題を一つでも解決に向け前進させるような、現実的に即した内容で編成してもらいと思います。

### ■予算編成方針の内容は

…毎年発表される「予算編成方針」は、世の中のエconomic状況に関するコメント、国ならびに東京都の予算編成の概要、そして決算状況からみた東大和市の財政状況と続き、これらを踏まえた今後の見通し、市として取り組まなければならないこと、また実現するために求める取り組み姿勢などが書かれています。そして、予算編成における優先施策が示されたうえで、各担当部署が予算を考え、予算要求をしていくこととなります。  
…来年度の予算編成方針の中の「東京都の予算編成方針」と「東大和市の平成27年度予算の編成に向けて」の方針は裏面の通りです。  
また、予算編成方針で示された平成27年度の優先施策の主なものは以下の通りです。

#### 『住みよい、活気あるまちづくり』に係る施策

- ・地域の特性を活かした魅力ある事業の展開
- ・行政サービスの電子化による利便性の向上
- ・市役所本庁舎の耐震化等

#### 『環境にやさしいまちづくり』に係る施策

- ・廃棄物の減量施策の推進
- ・環境保全に向けた施策の導入

#### 『福祉の行き渡ったまちづくり』に係る施策

- ・子育て支援の一層の充実
- ・市民の健康増進を図る施策の充実
- ・(仮称)総合福祉センターの施設整備

#### 『地域力・教育力の向上』に係る施策

- ・教育内容等の充実
- ・学校施設の環境整備等
- ・新学校給食センターの建設



…優先施策をみると、どれも必要かつ、是非、進めてもらいたいものですが、新たな取り組みをすることとなるとその財源が必要。東京都の予算編成方針の中で述べられている「ゼロベースの視点から事業全般を検証し、抜本的な対策を講じることも含め、時機を逸することなく必要な見直し・再構築を図るなど、施策の新陳代謝を促進し、都の自己改革力をいっそう高める」といった姿勢を東大和市も取り入れて、事業の見直しを行ったうえで、優先施策を推し進められる予算編成を行ったほうが良いと考えます。

#### ■行政評価の反映と透明性

…東大和市では平成24年度より市が行う事業事務の自己評価の他に、市民による外部評価(試行)を行っています。この外部評価の内容は、市民感覚から見ると納得性の高いコメントや評価となっています。外部評価は市の全事業(400以上)を対象に行ってはいませんが、このような市民感覚の評価も予算編成において、より一層反映させるべきです。

…毎年の予算は3月議会の会期中に行われる『予算特別委員会』で議員が委員となり審査し、その結果、可決されることで施行されます。その際、厚さ3cmほどの予算書が配布され、その内容を様々チェックして予算委員会では質疑、意見などが出されますが、より充実した議論が行われるためにも、その編成過程=庁内でのどのような議論がなされて編成されたのか=どうしてその予算が必要なのか、もしくは減額したのかなども市民に公表し、その意見も反映しながら議論ができるようにすべきだと考えます。

…今の時代は「透明性」、「説明責任」が厳しく求められています。予算編成の過酷ともいえる作業の中で、市も大変だとは思いますが、適切な情報公開等に努めていくことが、市民の市政や財政に対する関心を高めることにつながり、そのことが健全な財政を担保する力となると思います。

…先進自治体では、庁内でどのような議論がなされ、予算編成が行われたのかを予算特別委員会の前にホームページで公表する、市民向けに説明会を開催するなどといった取り組みをおこなっているところもあります。東大和市が目指す「市民との協働」という点でも、今後、このような取り組みも行っていくべきです。そうすることで、現状を把握したうえでの市民ニーズを市側も把握できた状態のもと市民との協働による市政運営が実現すると思います。(裏面につづく)

## ■行政は大きく舵は切れない中でも・・・

…行政は「絶対にやるべきこと」が多くを占めます。その改善に取り組むことは最大限実行すべきですが、新たな取り組みや方向転換といったような大きな舵を切ることには困難なものです。なぜなら、そこには市民生活への責任も伴うからです。

しかし、限られた財源、人材で最大限の努力と工夫を行うことで「キラリと光る」取り組みも実現できるはず。優先施策を進める上で、市民が実感できる効果を出せるような予算編成にし、どうしてそのような予算になったのかを、理解しやすい形で説明できるような形を今以上に推し進めてほしいと思います。

## ■東京都の予算編成について

東京都予算の見積方針においては、我が国経済の長期にわたる停滞状態・デフレからの脱却が、ようやく視野に入りつつある中、日本の成長と発展の起点たるべき首都東京は、世界の大都市の手本となる新しいとしモデルを構築していくとともに、日本全体の持続的発展をけん引していくことが求められるとしている。

平成27年度予算については、オリンピック・パラリンピック開催に向けた準備を加速させ、「世界一の都市、東京」実現に向けた取組を軌道に乗せる予算として位置づけ、その基本方針として、第一に「都政が直面する喫緊の諸課題に対して、迅速かつ的確に対応するとともに、世界の大都市のモデルとなる新たな都市像の構築に向けた、将来を見据えた重要課題に対しては、戦略性を持って重点的な取組を積極果敢に進めること」、第二に「ゼロベースの視点から事業全般を検証し、抜本的な対策を講じることも含め、時機を逸することなく必要な見直し・再構築を図るなど、施策の新陳代謝を促進し、都の自己改革力を一層高めること」を掲げている。なお、区市町村への財政支援に関しては、「地方分権を推進する観点から、区市町村の自主性・自立性の更なる向上を図るという視点に立って、補助金の整理合理化、補助率の適正化、統合・重点化等の見直しを積極的に図ること」とされており、前年度と同様に、その動向を的確に把握することが、市の予算編成において必要になってくると考える。

## ■東大和市の平成27年度予算の編成に向けて

はじめに歳入では、平成26年度予算において市民税個人の増額を見込んだところであるが、景気の動向等に左右されるため、今後の確たる見通しは難しく、また、市民税法人に関しては、その一部が国税化されたことに伴い減額が見込まれているところである。

平成26年度の地方交付税においては、普通交付税が予算額を上回る算定内容となったが、前年度交付額との比較では減額算定となっており、今後の地方税収等の見通しを踏まえた国の地方財政対策等の動向に関しては、当市に対する影響等を注視していく必要がある。

次に歳出であるが、義務的経費(人件費、扶助費、公債費)のうち公債費(借金の返済)は、平成27年度までは減少するが、その後は増加に転じる見通しもあり、扶助費(社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障害者・生活困窮者などに対する支援に要する経費)に関しては、障害者福祉費や児童福祉費が今後も増加していくと見込んでいる。

また、市民の健康の保持・増進において、予防摂取や健康診査の実施に係る物件費が増加し、高齢社会における介護給付費や医療給付費の増加と、これに関する特別会計への繰出金についても、その影響が及ぶところとなっている。このような状況が見込まれる中、多額の財源を必要とする新学校給食センターの建設や市役所本庁舎の耐震化事業に着手し、これらに加え、子育て支援の一層の充実等も必要と考えるので、主要となる事業の財源確保においては、困難な状況が生じてくると思われる。

以上、平成27年度予算の編成は、引き続き厳しい状況になると見込まれるが、持続可能な市政を目指し、市民サービスの充実等を図るため、職員一人ひとりには一層の努力を願い、チームワークを発揮して課題の解決にあたってほしいと考えている。また、開かれた市政の実現に向けては、情報公開と説明責任の徹底を引き続き図り、施策の形成や課題の対応にあたっては、その仮定の透明性を確保していかなければならない。平成27年度においても、抱える諸課題に対し、各課が積極的な姿勢で臨み、取り分け市政の重要案件に関しては、職員が総力を挙げて取り組むことで、市民の理解と信頼が得られ、市政が発展するものとする。そこで、平成27年度の予算編成に当たっては、前述した内容を認識し、優先施策と基本方針、別に定める予算編成要領等に基づき、予算見積書を作成されたい。

### 市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】



1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。／同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。

東大和市 市議会議員  
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ [wachi\\_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp](mailto:wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp) 【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102